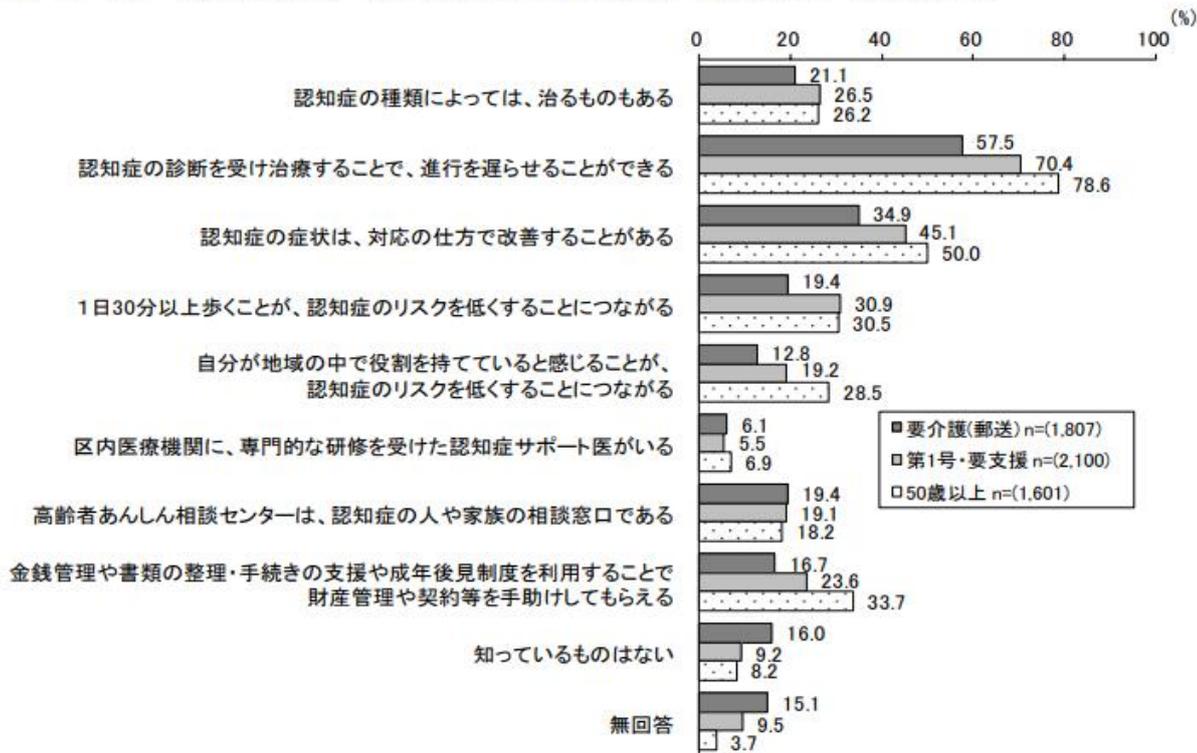


○認知症のケアや支援制度について知っていることは、いずれの対象者においても、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が最も高く、続いて、「認知症の症状は、対応の仕方によって改善することがある」となっています。

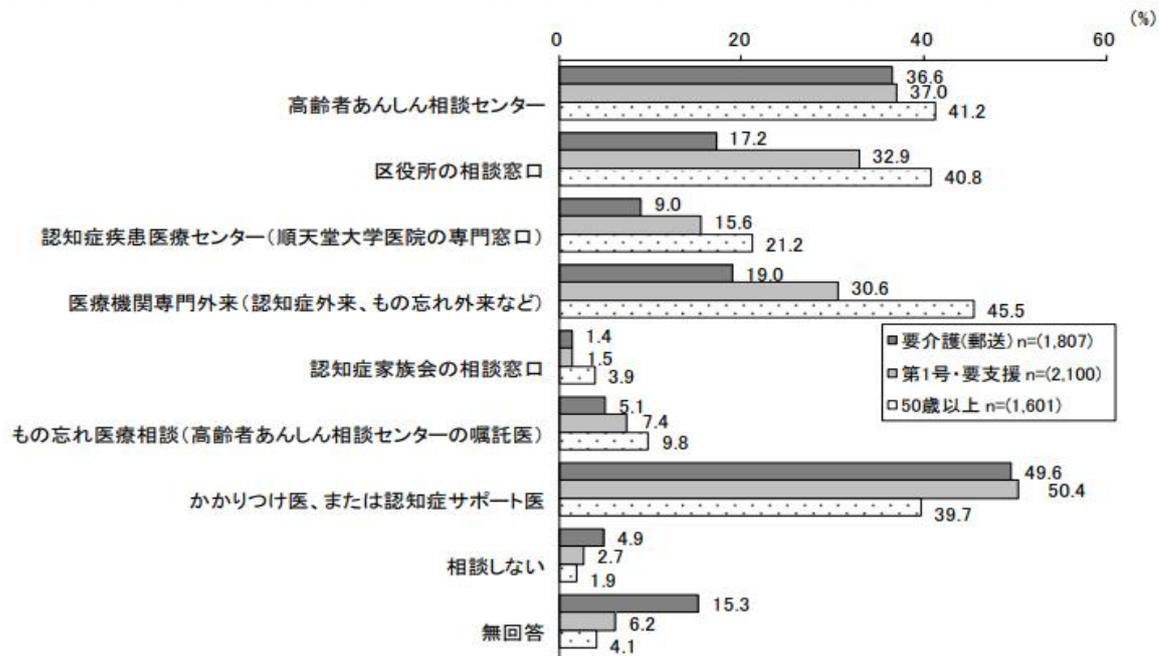
【図表】 3-24 認知症のケアや支援制度について知っていること（複数回答）



○認知症に関する相談で利用すると思う具体的な窓口では、〈要介護（郵送）〉、〈第1号・要支援〉では、「かかりつけ医、または認知症サポート医」、続いて、「高齢者あんしん相談センター」が多くなっています。

一方、〈50歳以上〉では、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」45.5%を筆頭に、「高齢者あんしん相談センター」、「区役所の相談窓口」、「かかりつけ医、または認知症サポート医」も4割前後と、意向が多岐にわたっています。

【図表】 3-25 利用が想定される認知症相談窓口について（複数回答）



○認知症に対する本人や家族への支援については、「介護者が休息できるよう、認知症の方を預かるサービス」が最も高く、続いて、「認知症の診断を受けた直後に、サービスの情報提供や精神的サポートなどを受けられる支援」となっています。

【図表】 3-26 認知症に対する本人や家族への支援について（複数回答）

